



平成29年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月13日

上場会社名 株式会社アジアゲートホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 1783 URL http://www.asiagateholdings.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金井 壮
 問合せ先責任者 (役職名) 経理事務連絡担当 (氏名) 平林 友伸 (TEL) 03-5572-7848
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年9月期第1四半期の連結業績(平成28年10月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年9月期第1四半期	1,342	40.2	34	210.9	41	—	82	—
28年9月期第1四半期	957	38.5	11	—	0	—	△3	—

(注) 包括利益 29年9月期第1四半期 134百万円(—%) 28年9月期第1四半期 △19百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年9月期第1四半期	1.44	1.35
28年9月期第1四半期	△0.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年9月期第1四半期	9,095	7,770	85.2
28年9月期	8,967	7,601	84.5

(参考) 自己資本 29年9月期第1四半期 7,749百万円 28年9月期 7,580百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年9月期	—	—	—	0.00	0.00
29年9月期	—	—	—	—	—
29年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年9月期の連結業績予想(平成28年10月1日～平成29年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,958	10.5	△38	—	△26	—	△31	—	△0.54
通期	4,866	29.5	101	△43.6	127	△46.2	118	△49.5	2.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年9月期1Q	57,442,851株	28年9月期	57,442,851株
② 期末自己株式数	29年9月期1Q	190株	28年9月期	190株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年9月期1Q	57,442,661株	28年9月期1Q	42,442,721株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要素により異なる可能性があることをご承知おきください。業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年10月1日～平成28年12月31日)におけるわが国の経済状況は、アメリカにおいてトランプ新大統領の誕生、ヨーロッパにおいてはイギリスのEU離脱など、国際政治が大波乱の様相を呈している中でも、株価は比較的、好調に推移し、また、引き続き「日本ブーム」による外国人訪日客は増加傾向であるなど、不安定な状況にも明るいニュースは随所に見受けられました。このような状況の下、当社グループは、ゴルフ・リゾート事業が天候にも恵まれ順調に売上を伸ばし、リアルエステート事業も安定的な成績をあげ、建設事業も好調に受注を獲得したこともあり、売上高は前年同四半期と比較して3億84百万円増加し、営業利益は前年同四半期と比較して23百万円増加いたしました。

経常損益に関しましては、当第1四半期連結累計期間に、関係会社(株式会社東京衡機)を株式売却により持分法適用会社から除外したことで持分法による投資損益は発生しておらず、前年同四半期より41百万円増加しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高13億42百万円(前年同四半期売上高9億57百万円)、営業利益34百万円(前年同四半期営業利益11百万円)、経常利益41百万円(前年同四半期経常利益0百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益82百万円(前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純損失3百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、以下の売上高にはセグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。

また、当第1四半期連結会計期間からセグメント区分の変更を行っており、前年同期比等については変更後の区分方法に組み替えたものによっております。詳細は、「3. 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」の「II 3 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

① ゴルフ・リゾート事業

ゴルフ・リゾート事業におきましては、若干、売上高は減少したものの、コストを抑えた結果、売上高3億20百万円(前年同四半期売上高3億39百万円)、営業利益34百万円(前年同四半期営業利益43百万円)となりました。

② 建設事業

建設事業におきましては、好調な景況を反映して売上高、営業利益ともに増加しております。この結果、売上高5億9百万円(前年同四半期売上高3億80百万円)、営業利益20百万円(前年同四半期営業利益11百万円)となりました。

③ リアルエステート事業

リアルエステート事業におきましては、当期も堅調に推移し、売上高5億12百万円(前年同四半期売上高2億21百万円)、営業利益49百万円(前年同四半期営業利益8百万円)となりました。

④ その他

上記に属さない事業(主にファイナンス取引)は売上高0百万円(前年同四半期売上高17百万円)、営業損失0百万円(前年同四半期営業利益3百万円)を計上しました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1億28百万円増加し、90億95百万円となりました。

流動資産は4億79百万円増加し42億62百万円、固定資産は3億51百万円減少し48億33百万円となりました。流動資産増加の主な内訳は、現金及び預金が4億45百万円増加したことによります。

固定資産の減少の内訳は、有形固定資産の減少10百万円と投資その他の資産の減少3億40百万円であります。投資その他の資産の増減の主な要因は、関係会社株式の減少6億20百万円、投資有価証券の増加2億64百万円などです。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて40百万円減少し、13億25百万円となりました。負債減少の主な要因は、その他に含まれる前受金が40百万円減少したことによります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1億69百万円増加し、77億70百万円となりました。純資産増加の主な要因は、その他有価証券差額金が70百万円増加したことと、親会社株主に帰属する四半期純利益82百万円、持分法適用会社の減少に伴う剰余金増加高による34百万円など利益剰余金の増加1億17百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月期第2四半期連結累計期間及び平成29年9月期連結通期の業績予想につきましては、平成28年11月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間において、株式会社東京衡機を株式売却により、持分法適用の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	489,219	934,789
受取手形・完成工事未収入金等	350,719	275,135
リース投資資産(純額)	18,471	16,143
商品	17,918	13,347
原材料及び貯蔵品	15,120	11,377
販売用不動産	2,693,397	2,820,423
未収入金	22,352	19,312
繰延税金資産	—	11,580
その他	178,454	161,252
貸倒引当金	△3,382	△1,133
流動資産合計	3,782,271	4,262,229
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	416,470	408,200
機械装置及び運搬具(純額)	30,608	28,546
工具、器具及び備品(純額)	5,095	5,112
土地	1,755,915	1,755,915
有形固定資産合計	2,208,089	2,197,775
無形固定資産		
その他	5,785	5,816
無形固定資産合計	5,785	5,816
投資その他の資産		
投資有価証券	25,985	290,650
関係会社株式	2,633,926	2,013,000
長期貸付金	320,725	304,225
長期未収入金	63,540	64,660
繰延税金資産	—	14,872
その他	63,268	78,022
貸倒引当金	△136,512	△135,413
投資その他の資産合計	2,970,935	2,630,017
固定資産合計	5,184,810	4,833,608
資産合計	8,967,081	9,095,837

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	277,866	269,162
1年内返済予定の長期借入金	16,800	16,800
未払法人税等	25,269	13,070
未払消費税等	22,895	22,282
繰延税金負債	120,610	120,610
賞与引当金	13,153	19,154
ポイント引当金	21,201	20,975
その他	345,977	274,101
流動負債合計	843,773	756,157
固定負債		
長期借入金	31,800	27,600
繰延税金負債	4,363	34,371
役員退職慰労引当金	39,489	42,816
退職給付に係る負債	132,593	135,398
資産除去債務	16,478	16,533
その他	297,028	312,382
固定負債合計	521,752	569,103
負債合計	1,365,526	1,325,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,010,600	4,010,600
資本剰余金	4,618,379	4,618,379
利益剰余金	△1,059,546	△942,271
自己株式	△40	△40
株主資本合計	7,569,392	7,686,668
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6,044	64,719
土地再評価差額金	9,534	—
為替換算調整勘定	7,788	△1,695
その他の包括利益累計額合計	11,277	63,023
新株予約権	20,884	20,884
純資産合計	7,601,554	7,770,576
負債純資産合計	8,967,081	9,095,837

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
売上高	957,908	1,342,669
売上原価	601,514	945,142
売上総利益	356,393	397,526
販売費及び一般管理費	345,326	363,123
営業利益	11,067	34,403
営業外収益		
受取利息	1,014	713
受取給付金	1,654	1,153
貸倒引当金戻入額	1,522	1,505
その他	2,243	4,584
営業外収益合計	6,435	7,956
営業外費用		
支払利息	263	350
持分法による投資損失	16,928	—
その他	16	322
営業外費用合計	17,208	673
経常利益	294	41,687
特別利益		
固定資産売却益	2,475	—
投資有価証券売却益	—	1,900
関係会社株式売却益	—	18,418
その他	4	—
特別利益合計	2,479	20,318
特別損失		
固定資産除売却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	2,773	62,005
法人税等	6,507	△20,859
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,733	82,865
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,733	82,865

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成27年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,733	82,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△874	70,703
為替換算調整勘定	—	4,577
持分法適用会社に対する持分相当額	△14,799	△23,535
その他の包括利益合計	△15,673	51,746
四半期包括利益	△19,406	134,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△19,406	134,611
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年10月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)3
	ゴルフ・リ ゾート事業 (千円)	建設事業 (千円)	リアルエス テート事業 (千円)				
売上高							
外部顧客への売上高	339,097	380,710	221,908	16,193	957,908	—	957,908
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	1,193	1,193	△1,193	—
計	339,097	380,710	221,908	17,387	959,102	△1,193	957,908
セグメント利益	43,391	11,304	8,044	3,814	66,553	△55,486	11,067

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にファイナンス事業に関連する業務であります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去228千円、各報告セグメントに帰属しない全社費用△55,715千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (千円) (注)1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)3
	ゴルフ・リ ゾート事業 (千円)	建設事業 (千円)	リアルエス テート事業 (千円)				
売上高							
外部顧客への売上高	320,772	509,247	512,512	136	1,342,669	—	1,342,669
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	645	645	△645	—
計	320,772	509,247	512,512	782	1,343,314	△645	1,342,669
セグメント利益又は 損失(△)	34,628	20,802	49,822	△257	104,996	△70,592	34,403

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主にファイナンス事業に関連する業務であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用△70,592千円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント区分の変更)

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更し、重要性の低下により「ファイナンス事業」及び「その他」を報告セグメントより除外し「その他」に含めております。また、従来、報告セグメントに配賦をしていた各報告セグメントに帰属しない親会社の一般管理費をセグメント毎の経営成績をよりの確に反映させるため、全社費用として「調整額」に含めております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「ゴルフ・リゾート事業」のセグメント利益が27,174千円増加し、「リアルエステート事業」のセグメント利益が43,418千円増加しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。